

知的障害者のための家内織物プロジェクト

Malaysia / マレーシア

Khor Ai-Na アイナ (9期)
アジア・コミュニティ・サービス (ACS)



知的障害者の在宅での就労環境を整備することを目的として、知的障害者の家庭に織機を提供し、その使い方等を本人や家族に伝える事業です。

アイナさんの活動紹介

<専門分野> 障害福祉

<日本での研修>

期	第9期 (1992年3月来日)
研修先	あかつき (救護施設)、全国重症心身障害者児を守る会 (重度重複心身障害児者通所施設)、なぎさ和楽苑 (特別養護老人ホーム、他)、鎌倉保育園 (養護施設)、くず葉学園 (精神薄弱者更生施設)、進和学園 (障害者施設)、日本障害者雇用促進協会、横浜市総合リハビリテーションセンター、国立身体障害者リハビリテーションセンター、町田市寮保育園 (児童発達支援施設)

※施設種別は当時のもの

<母国での福祉活動>

研修を修了し帰国後、1996年に現地の日本人と共にアジア・コミュニティ・サービス (ACS) を設立しました。ACSは、とくに知的障害者への直接支援サービスを提供する団体です。マレーシア各州での調査により障害児の行き場がないことが判明し、「障害児がはじめて出会う療育の場づくり」から始め、知的障害者の働く場としての作業所などをスタートさせました。現在も、6歳以下の乳幼児早期療養センター、青年成人の地域生活支援センター、自立生活ホーム、移動おもちゃ図書館、緊急一時預かり等の活動を継続しています。



ACS を設立



早期療養センター



移動おもちゃ図書館



ACS の作業所

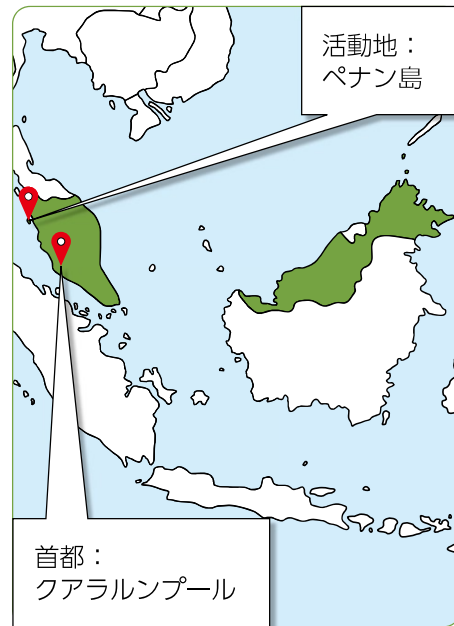
活動地の状況・課題

活動地はペナン島バリックプラウにあるACS 踏み石ワーク・センターです。辺境地に住む知的障害者に働く場所を提供しています。

マレーシアでは2020年3月以降、新型コロナの大流行によりロックダウンが続き、何度もセンターの活動を中断しなければなりません。活動できない時期が続き、何らかの形で活動を安定させる必要があると判断しました。



センターで織物に挑戦する利用者



事業の目的

外出せず家の中に長時間いると、障害の状況は悪化してしまいます。

そこで、知的障害のあるセンターの利用者宅に折り畳み式または卓上式の織機を運び込み、コロナ禍でも安全に働ける環境を整備することをめざしました。

事業の成果

- 利用者の家に織機が届いたとき、家族から織物について学びたいという反響があり、非常に盛り上がりました。
- コロナ禍でも仕事を継続できることで、利用者の生活は有意義になり、通常の仕事もこなせるようになりました。
- これまで、センターの職員は、知的障害のある利用者がICT機器を扱うことに懐疑的で、導入を検討したことがありませんでした。しかし、彼らがあれば新しい技術を習得することができるかわかり、職員の認識も変化しました。



織機準備のオンラインワークショップ



家族のサポートを受けながら作業するようす

実施経過

2021年2～3月

織機の購入に向けた調査、発注

海外の様々なタイプの織機についてコストや物流などを調べ、ニュージーランドと中国の織機を発注しました。また、個々のニーズに合わせ、適切な業務内容（織物、紙袋作成など）を検討しました。



2021年6～7月

全国的な厳しいロックダウン

2021年7月

在宅での仕事にかかるサポートの検討

各家庭でのインターネット接続の可能性および安定性を調べました。あわせて、家族による技術的なサポートの可否についても調査しました。

2021年8月

オンラインでの訓練ビデオおよびマニュアルの開発

発注した織機がセンターに届いた時、厳しいロックダウンの最中でした。そのため、オンラインで段階的に織機の使い方を教える訓練ビデオを開発しました。



2021年9月

織機の配布



2021年10月

織機の準備および使い方等を伝えるためのオンラインワークショップ

開発した訓練ビデオを用いながら、織機の準備方法や織物の技術を家族に伝えるオンラインワークショップを数回行いました。



2021年11月

オンラインでのモニタリング、家庭訪問の開始

オンラインワークショップに十分な環境を準備できる家族は7家族のみでした。その7家族には、トラブル対処やフォローアップ等のサポートをオンラインで継続しました。

11月には地域の移動制限が緩和されたため、十分な環境を準備できずオンラインで繋がれなかった利用者と家族を訪問し、直接サポートを行いました。



今後の活動・展望

- パンデミックはまだ収束していません。メンバーの安全のために、在宅勤務を継続していきます。
- 現在このプロジェクトを利用している人びとに、織機を買い取って自分のものにする機会を提供する「オーナーシップの原則」計画の確立を検討しています。助成金を受けた時のレートで織機を購入してもらい、そのお金でさらに多くの織機を購入し、他の人びとも恩恵をもたらすことができます。他にも、織機の分割購入あるいは織機と引き換えに織り上げた布地を渡してもらうようにすることもできます。これは、誇りと尊厳に加えて、知的障害のあるメンバーが自分の持ち物を大切に、責任をもつことにつながるでしょう。

収支報告

全体事業額：324,715 円

助成額：317,911 円

<主な使途>

- 機織り機の購入

<収入>

項目	金額(円)	内訳
全社協からの助成金	317,911	
自己資金	6,804	
合計	324,715	

<支出>

項目	金額(円)	内訳
織機フレームの購入	14,246	5セット
24インチ卓上織機と付属品の購入	209,053	5セット
32インチ卓上織機と付属品の購入	101,416	2セット
合計	324,715	

注) マレーシアリングgit (MYR) で提出された報告をもとに日本円に換算して表記

換算レート：1 マレーシアリングgit ≒ 27.77 円 (送金日 (2021 年 5 月 18 日) の為替レート)

事業の様子を
収めた動画は
こちらから



Malaysia

マレーシア 基本情報



面積 ^{※1}	約 33.1 万km ² (2020 年) 日本の約 0.9 倍
人口 ^{※1}	3,237 万人 (2020 年)
人口密度 ^{※1}	99 人/km ² (2020 年)
主要民族 ^{※2}	マレー系 (約 69%), 中国系 (約 23%), インド系 (約 7%) (注: マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)
主要言語 ^{※2}	マレー語 (国語), 中国語, タミール語, 英語
主要宗教 ^{※2}	イスラム教 (連邦の宗教) (61%), 仏教 (20%), 儒教・道教 (1.0%), ヒンドゥー教 (6.0%), キリスト教 (9.0%), その他
政治体制 ^{※2}	立憲君主制 (議会制民主主義)
1人あたりの国民総所得 ^{※1}	3,985 米ドル (2019 年)
通貨 ^{※1} (1米ドル= 109.010 円換算)	1 米ドル= 4.203 リンギット (2020 年平均) 100 円≒ 3.936 リンギット
平均寿命 ^{※1}	男 73 歳、女 77 歳 (2019 年)
65 歳以上人口割合 ^{※3}	7.45% (2021 年)
合計特殊出生率 ^{※4}	1.97 (2020 年)

※1 統計局 世界の統計 2022 <https://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html>

※2 外務省 HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/index.html>

※3 World Bank Population ages 65 and above (% of total population) - Malaysia
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.POP.65UP.TO.ZS?locations=MY>

※4 World Bank Fertility rate, total (births per woman) - Malaysia
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.DYN.TFRT.IN?locations=MY>